

曲し、地で手っ取り早く多くの改宗者をち取ろうとしたのかも知れません。そのは、使徒言行 17: 22 23においてて取ることが出来ます。パウロはアテネで、人々をギリシヤの宗教から自分の新宗教へと呼びこもうとしています。また、パウロがユダヤ教の典からの典を出すことなく、またイエスの教えに基づいたものでもない、全く新奇な独自の概念を捏造したも存在しています。コリント信徒への手一7: 25では、未婚の人々からのにし、自分が「主の指示を受けていない」ことをパウロはめています。それにもわらず、彼は独断で持をりげ、自らを「主のれみにより信任を得ている者」とさえ主しているのです。

新の有り性における疑

カトリックの家庭、カトリックの学校という境で育った私は、を常に条件で神の言となしていました。大人になり、のと纂の史を学んだ果、特に新にしてのい疑念を抱くようになりました。それは、パウロと彼の追者たちがその大半を著したものです。使徒言行では16章以降、イエスの直弟子だったバルナバではなく、彼と共に道したパウロのが述べられています。バルナバは、キプロスにおけるキリスト教会の立者として知られており、最も初期のキリスト教徒たちによってめられていた福音の著者でもありました。しかし彼の福音は、新が初めて公式に纂された、イエスの代から3世の口マ皇帝コンスタンティヌス1世の命令によって、独断的に排除されました。バルナバは、エルサレムのイエスの弟子たちがパウロから距を置いたとき、彼の人柄を保しましたが、そのの口によってパウロとは袂を分かちました（使徒言行 15: 36 40）。

キリスト教世界において（西 325年のニケア公会以降）、正典としてめられている福音4にしては、イエスの死からはるかになって、信性のない第三者 第四者の告を元に纂されたものです。

福音4の成立年:

マルコ西 65 75年

ルカ西 80 85年

イエスと彼の追 者たちが、ユダヤ教におけるヘブライ の原典からではなく、著しく意味の なる外国 の翻 から引用しているという事 は、それが信 に するものではないということをはっきりと浮き りにしています。このことは、新 の正 性に更なる疑 を付加させ、教 の根 としての新 の有 性を なくすものです。

Footnotes:

1

(http://www.acs.ucalgary.ca/~elsegal/C_Transp/C_Index.html)

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/660>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。